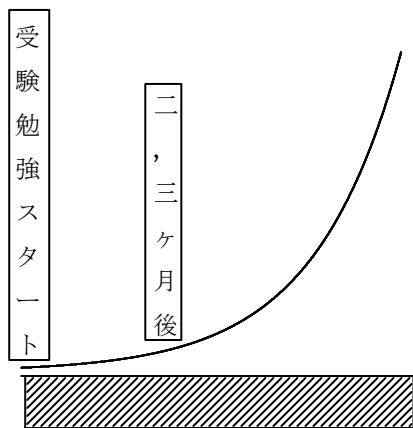


一生の中で一番成長したと言える1年間になるように!

2年2月の学年集会で5分話した内容を再度。



左のグラフは、学力の向上曲線です。

3年生夏休み、毎日10時間の勉強をしても、その結果が伴ってくるのは、10月11月なのです。10月11月に、ぐーっと一気に伸びてくるのです。

だけど、全員がこの曲線を描くわけではありません。下の斜線部、すなわち、土台がしっかりとできている生徒のみがこの曲線を描くのです。

ざるの穴が開いたまま、その上に山を築こうと思ってもぼろぼろ下に落ちてしまいます。その穴をふさぐ作業をまずしなければなりません。

この土台がしっかりとすれば、もう大丈夫です。

※以前、大手予備校の上層部の方と話しをする機会がありました。浪人生の東大コースの1学期のテキストは、東大を目指す生徒にとってはかなり簡単なテキストだそうです。1学期にその簡単なテキストをバカにいい加減にやる生徒はまず合格しないということです。すなわち、いつから、勉強をスタートしても必ず、土台作りからということです。

※基礎・基本というと、簡単な問題を覚えることと、勘違いしている生徒がいます。基礎・基本を作るということは、頭を使って考え、仕組みを理解することです。とにかく、『考えること、思考すること。』ここに、意識を強く持って机に向かってください。「つめこみ作業」は勉強ではない。くだらない、勉強のつもりをすることは、逆効果なのです。

※もし、しっかりと学習をし、上の曲線が描けたとするならば、受験生が、というよりも人生の中で一番成長する3年生の10月11月12月に、総合型選抜(A0)や推薦入試でこの伸びを止めるのは、どう考えても得策ではないですね。だから、多くの先生は、総合型選抜や、推薦入試を勧めないのです。上の曲線を描いている途中の10月11月であり、合格後も学習を続け、この曲線を続けていく生徒は、第1志望校に対して、推薦、総合型を考えてもということです。上昇曲線にのった者は、上級学校に行ってもこの曲線にのっかりどんどん伸びていきます。

※10年後、20年後、30年後、40年後に振り返ったとき、高校3年生の1年は、勉強やったなあ、苦しかったけどあの時頑張ってた良かったなあ、と思えるように、君達の人生の中で、一番勉強をし、一番考え悩み、そして、一番成長できたといえる1年になることを期待しています。

※受験は、上級学校に合格するだけのためではなく、厳しく過酷な受験を勝ち抜くことで、君達の一生を支えてくれる土台となるのです。気合いを入れて、頑張りましょう。

※いっぱい担任の先生やいろいろな先生に相談をしましょう。質問をしましょう。